日本アジア投資株式会社
2019年3月期　期末
決算補足資料

決算発表日：2019年5月15日

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

目次

1. 総括 P3

2. 2019年3月期の実績（前期比較） P4

3. 中期経営計画の進捗状況 P9

4. 2020年3月期の業績予想 P19

5. 営業活動の状況 P21

6. 参考情報 P33

（ご注意）本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

JAIC

✓ 2019年3月期実績（前期比較）

- 前期比54.2%減収、33.8%減益、前期のプロジェクト売却の反動減
- 他社が運営するファンドからの利益（営業収益、特別利益）が発生
- プロジェクト投資資産の増加により、財務健全性の目標を達成

✓ 中期経営計画の進捗状況

- 営業収益達成率71.7%、最終利益達成率123.1%
- 株式売却の不足をメガソーラープロジェクトの売却で補完し業績安定化
- プロジェクト投資の先行開発コストを反映し計画を一部修正
- 安定収益拡大達成時期は後ろ倒しになるも、積極投資で含み益積み増す
- 2021年3月期は、最終利益7億円・ROE9%を目指す

✓ 2020年3月期の従来連結基準による見込値

- 41.4%増収、最終利益13.6%減益、第4四半期に利益集中の見込み
- 特別利益の減少や税金費用発生に伴い最終利益は減益見込み
- 国内外のIPOで株式売却益見込む、下振れ時はプロジェクト売却で補完

ハイライト P5
営業収益・営業原価内訳 P8

2. 2019年3月期の実績–ハイライト P/L （前期比較）

JAIC

	2018/3期 実績		2019/3期 実績		
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減率
営業収益	5,403	100.0%	2,475	100.0%	△54.2%
営業原価	3,074	56.9%	1,188	48.0%	△61.3%
営業総利益	2,328	43.1%	1,286	52.0%	△44.8%
販管費	1,311	24.3%	1,109	44.8%	△15.5%
営業利益	1,017	18.8%	177	7.2%	△82.6%
経常利益	954	17.7%	83	3.4%	△91.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	874	16.2%	578	23.4%	△33.8%
営業収益のうち、安定収益（※）	296	–	348	–	17.4%
販管費に占める安定収益（※）の割合	22.6%	–	31.4%	–	–

- ✓ **前期比：54.2%減収、33.8%減益**
  前期に9件・81.8MWのプロジェクトを売却・回収した反動減
- ✓ **特別利益の発生により、一定の最終利益を確保**
- ✓ **安定収益：建設中案件の開発コストを売電収益で補い前期比17.4%増加**

（※）安定収益：管理報酬、プロジェクト投資による持分損益のうち売却益・補助金収入以外の収益、プライベートエクイティ投資の利息・配当収入の合計額。

2. 2019年3月期の実績–ハイライト B/S （前期比較）

JAIC

	2018/3期末実績		2019/3期 実績		
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減率
総資産	19,220	100.0%	17,305	100.0%	△10.0%
うち　現預金	7,308	38.0%	5,564	32.2%	△23.9%
うち　営業投資有価証券（プロジェクト投資）	3,582	18.6%	5,514	31.9%	53.9%
うち　営業投資有価証券（プライベートエイクイティ 引当後）	6,030	31.4%	5,138	29.7%	△14.8%
借入金	11,954	62.2%	9,784	56.5%	△18.2%
自己資本	6,545	34.1%	6,840	39.5%	4.5%
現預金＋プロジェクト投資△借入金	△1,063	–	1,294	–	–

- ✓ **プロジェクト投資残高：順調な投資実行と売却抑制により残高が増加**
- ✓ **借入金残高　：97億円、 ピーク時残高（社債含む）から79%削減**
- ✓ **財務バランス：現預金とプロジェクト投資の合計が借入金残高を超過**
  財務健全性の目標としていたバランスを達成

2. 2019年3月期の実績–ハイライト C/F（前期比較）

JAIC

（単位：百万円）	18/3	19/3
営業活動によるCF	1,870	299
投資活動によるCF	238	1,224
財務活動によるCF	△2,173	△2,173
CF増減額	△57	△675
期末残高	4,757	4,082

- ✓ **営業CF： 299百万円の収入**
  株式やプロジェクト売却の減少に伴い前期から収入額が減少
- ✓ **投資CF： 1,224百万円の収入**
  ファンドの償還や投資有価証券の流動化促進に伴い前期から収入額が増加
- ✓ **財務CF： 借入金の返済により2,173百万円の支出**

2. 2019年3月期の実績－営業収益・原価 内訳　（前期比較）

JAIC

（単位：百万円）	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 実績
営業収益	5,403	2,475	1,875	1,474	3,528	1,000
管理運営報酬等	277	241	275	239	2	1
成功報酬	86	－	86	－	－	－
営業投資有価証券売却高	3,219	1,746	1,436	865	1,783	881
組合持分利益等	1,612	406	20	315	1,592	90
利息・配当収入	64	23	40	22	24	1
その他営業収益	142	57	16	31	126	26
営業原価	3,074	1,188	1,607	960	1,467	228
営業投資有価証券売却原価	2,469	554	1,004	325	1,465	228
営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	562	579	562	579	－	－
組合持分損失等	36	49	34	49	2	－
その他営業原価	5	6	5	6	－	－
営業総利益	2,328	1,286	268	514	2,060	772

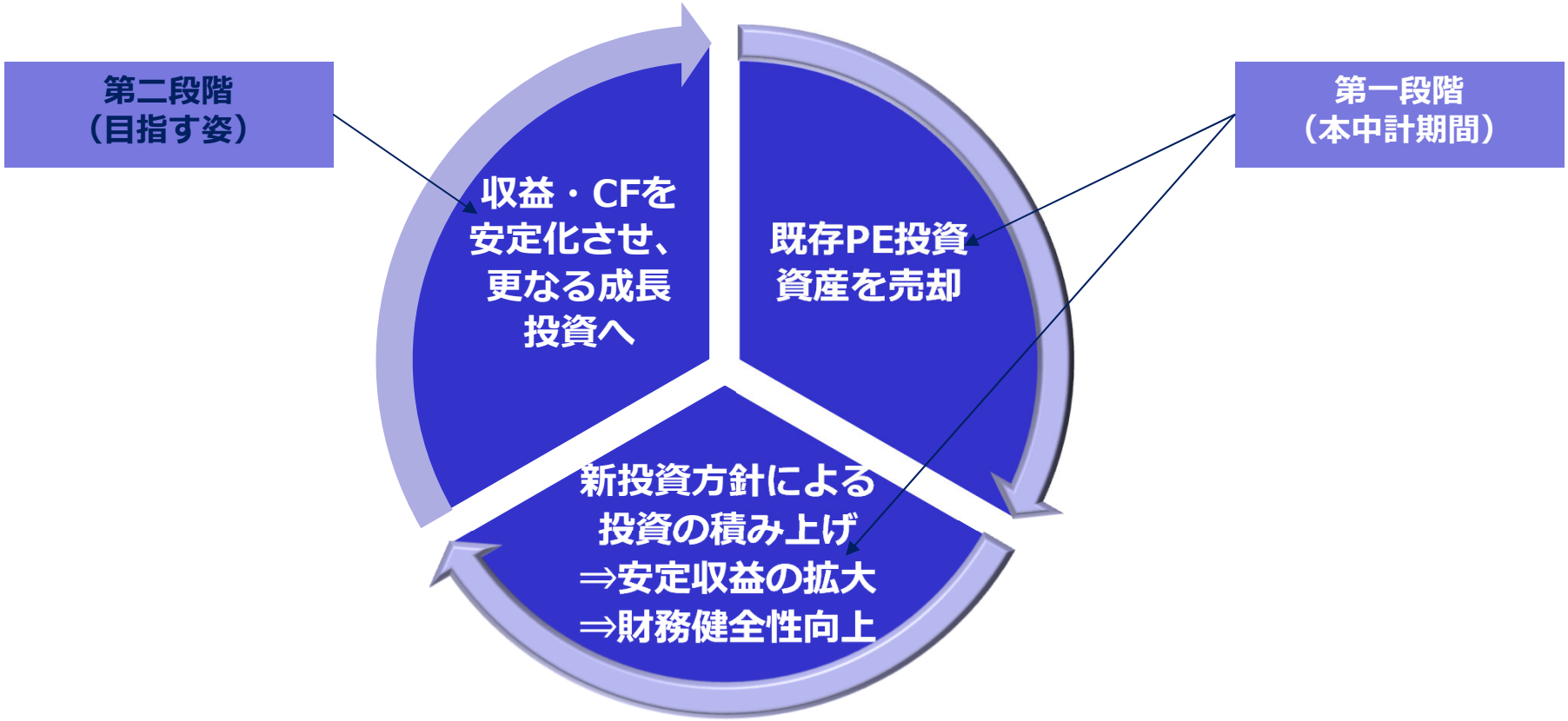
- ✓ **プライベートエクイティ投資：売却高が減少した一方、他社の運営するファンドからの持分利益の増加により、営業総利益は前期比増加**
- ✓ **プロジェクト投資：前年同期は大型案件含む9件・合計81.8MWの売却・回収や補助金収入あり、反動で売却高・持分利益が減少**

中期経営計画の概要	P10
選定した事業テーマ	P11
数値計画の達成状況	P12
プライベートエクイティ投資	P13
プロジェクト投資	P15
2年目以降の重点施策	P17
新たなKPI（主要業績評価指標）の設定	P18

3. 中期経営計画の進捗状況－中期経営計画の概要

JAIC

- 収穫期に入る既存のプライベートエクイティ（PE)投資資産の売却により、利益・資金を確保
- 新たな投資方針による投資資産へ入れ替え、安定収益の拡大と財務健全性向上を目指す
- 約定弁済の削減と、ファンド連結ベースでの借入拡大による投資活動の活発化
- 安定した収益とキャッシュフロー（CF)を基盤として、更なる成長投資を実施



3. 中期経営計画の進捗状況－選定した事業テーマ

JAIC

当社の強み・独自性や、市場の規模感・市場へのアクセス機会/能力を踏まえ選定

強み・独自性

① 新興市場に対する情報収集力

② 多数のアライアンスVB候補群のネットワーク

③ 上場投資会社としてのスキルとノウハウを生かしたファイナンススキーム構築力

市場へのアクセス

① 社会的な要請が高く成長が見込める有望な市場であること

② 市場や商品の目利きができる分野であること

③ 市場特有の専門性をカバーするパートナーが確保できること

事業テーマ

～既存事業テーマ～
「再生可能エネルギー」

～新規事業テーマ～
「スマートアグリ（植物工場）」
「ヘルスケア（介護・医療）」

3. 中期経営計画の進捗状況－数値計画の達成状況

JAIC

従来連結基準	2019/3期期初見込（2018/5/14発表値）	2019/3期　実績	
	金額（百万円）	金額（百万円）	達成率
営業収益	3,450	2,475	71.7%
うち　ﾌｧﾝﾄﾞ報酬	240	241	100.6%
うち　売却高（ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｴｸｲﾃｨ（PE））	2,800	865	30.9%
うち売却高（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）	－	881	－
うち　組合持分利益等（PE）	－	315	－
うち　組合持分利益等（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）	400	90	22.6%
うち　その他	10	81	810.9%
営業原価	1,650	1,188	72.1%
うち　売却原価（PE）	1,300	325	25.1%
うち　売却原価（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）	－	228	－
うち　評価損・引当	350	579	165.5%
うち　その他	－	55	－
営業総利益	1,800	1,286	71.5%
販管費	1,100	1,109	100.8%
営業利益	700	177	25.3%
経常利益	550	83	15.3%
親会社に帰属する当期純利益	470	578	123.1%

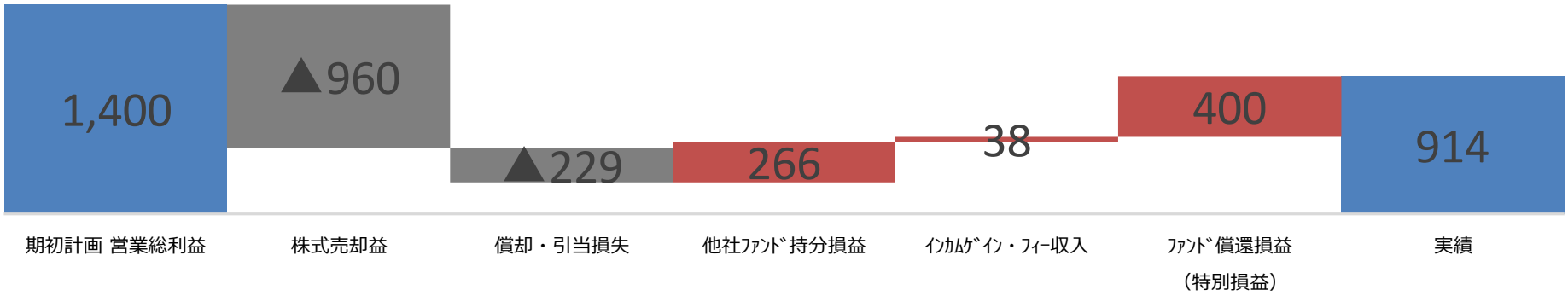
- ✓ **営業収益達成率71.7%、最終利益達成率123.1%**
- ✓ **株式売却の下振れが営業収益の計画未達の要因**
- ✓ **他社ファンドの持分益、プロジェクトの売却積み増し、特別利益の発生で株式売却の下振れを補完**
- ✓ **最終利益は計画を超える水準を達成**

3. 中期経営計画の進捗状況－プライベートエクイティ投資

JAIC

（単位：百万円）

プライベートエクイティ投資　2019/3期



- ✓ **投資先のIPOや売却交渉が計画通りに進まず株式売却益が下振れ**
- ✓ **投資期間が長期に亘る海外の投資先企業への償却・引当が計画以上に発生**
- ✓ **想定よりも早期に、他社運営ファンドの持分損益（営業収益・営業原価）が発生**
- ✓ **過去のリストラクチャリングの過程で、営業資産から投資有価証券に振替えたプライベートエクイティファンドから償還損益（特別損益）が発生**

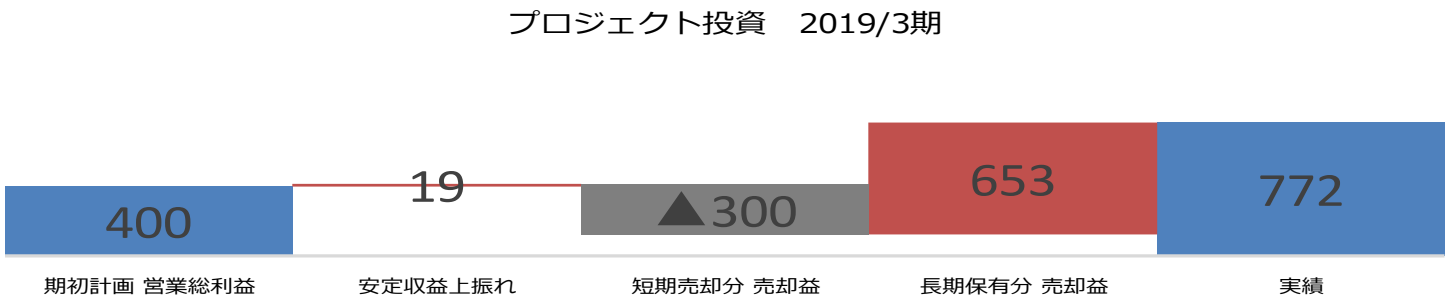
3. 中期経営計画の進捗状況 – プライベートエクイティ投資

JAIC

項目	計画	進捗状況
フィナンシャル投資 （ﾌｧﾝﾄﾞ資金による投資）	既存投資資産の 売却促進	・大型案件のIPOや売却交渉が計画通りに進まず、売却益は計画未達 ・計画外の他社ファンドからの利益で一部を補う
	ファンド設立	・あおぞら銀行との事業承継ファンド30億円の設立が実現 ・アジアをテーマとしたファンド2本の募集活動中
戦略的投資 （自己資金による投資）	パートナー企業 への投資	・既存プロジェクトのパートナー企業と更なる協業が進捗すれば、戦略投資の候補先としても期待できる状況 ・事業で協働が可能なベンチャー企業の発掘を進め、具体的な投資候補先として検討中
CVC運営 受託	ファンド運営・管理業務の受託による事務受託報酬の積み上げ	・CVCを中心に、子会社のジャイク事務サービス㈱にて9件・ファンド総額合計370億円の新規ファンド事務受託を獲得

3. 中期経営計画の進捗状況－プロジェクト投資

（単位：百万円）



- ✓ **短期売却益は、投資から売却までに想定以上に時間を要し計画未達**
- ✓ **長期保有目的プロジェクトを売却し、全体で計画以上の利益を達成**
- ✓ **他の収益の下振れ時に長期保有目的分の売却で補完ができることは、過去数年に亘りプロジェクト投資資産の含み益を拡大してきた成果**

3. 中期経営計画の進捗状況－プロジェクト投資

JAIC

項目	計画	進捗状況
再生可能エネルギー	・短期売却目的案件への投資実行、売却益の獲得	・１件、10億円の投資実行と回収を行うも、利益計上は2020年3月期にズレ込む ・長期保有目的のプロジェクトの売却を積み増して補完、期中の売却は4件8.2MW ・長期保有方針から早期売却方針へ変更したプロジェクト1件へ1億円の追加投資を実行
	・メガソーラーを中心とした高FIT案件への投資実行	・メガソーラー以外の再生可能エネルギープロジェクトも含め、9件に合計20億円の投資を実行
スマートアグリ	・植物工場への投資実行	・第1号案件に投資、2019年3月に操業を開始
ヘルスケア	・介護施設案件への投資実行	・3件の計画があったものの、いずれも土地の入札で落札がなされず、プロジェクトの組成に至らず ・既存介護施設のバリューアップ投資案件を検討したが、他社が先行したため投資できず

3. 中期経営計画の進捗状況－2年目以降の重点施策

JAIC

プライベートエクイティ投資

- IPOによる売却益獲得に加え、未上場株式や営業外の資産も流動化を促進する
- 海外進出支援、対日直接投資支援を目的とする2本のファンドを設立する
- 社外ネットワーク（国内・アジア）を強化し、グローバル支援体制を構築する
  クロスボーダーM&Aを中心としたFA業務への取り組みを開始する
- Bankable（金融機関からの負債性資金調達が可能）な新規事業を創出し、当事業のプロジェクトへの投資と共に、パートナー企業への戦略投資も行う

プロジェクト投資

- 再生可能エネルギー：メガソーラー最優先、バイオガス・バイオマスの新規案件にも投資
  開発コスト負担あるが、高採算案件への投資機会は時限性があるため、積極投資を継続する
- スマートアグリ：初期開発コストかかるが、短期間での規模拡大を期待して、植物工場1号案件を軌道に乗せ後続案件に投資する
- ヘルスケア：地価高騰により建設用地の入札が難航しているため、件数を追わず採算性を重視し、介護施設開発案件に選別的に投資する

3. 中期経営計画の進捗状況－新たなKPIの設定

JAIC

最終目標	2021/3期
最終利益	7億円
ROE	9%

戦略	施策	KPI 2019/3期	KPI 2021/3期
プロジェクト投資資産からの安定収益拡大	プロジェクト投資資産残高	55億円	90億円
	プロジェクト投資資産の含み益（割引前累計利益見込額）	70億円	200億円
	現預金とプロジェクト投資資産の合計額と借入金のバランス	＋13億円	+56億円
プライベートエクイティ投資資産の入替	既存資産の早期流動化・収益化	残高51億円（引当後）	残高10億円（引当後）
	・新規投資用のファンド設立 ・戦略的投資の実行	残高3.7億円	残高10億円

4. 2020年3月期の業績予想

JAIC

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

4. 2020年3月期の従来連結基準による見込値

JAIC

従来連結基準	2019/3期実績	2020/3期 通期見込値	増減率	2020/3期 2Q累計見込値
	金額 （百万円）	金額 （百万円）		金額 （百万円）
営業収益	2,475	3,500	41.4%	600
営業原価	1,188	1,600	34.6%	290
営業総利益	1,286	1,900	47.7%	310
販管費	1,109	1,100	△0.8%	550
営業利益	177	800	350.9%	△240
経常利益	83	650	674.8%	△320
親会社株主に帰属する当期純利益	578	500	△13.6%	△330
ROE	8.6%	7.4%	–	–

- ✓ **41.4%増収、経常利益674.8%増益、最終利益13.6%減益の見込み**
- ✓ **国内外で投資先のIPOに期待、株式売却による増収・経常増益を見込む**
- ✓ **特別利益無し・税金費用発生により、最終利益は減益の見込み**
- ✓ **株式売却が下振れした場合には、プロジェクトを売却して補完する**
- ✓ **減益に伴いROEは低下する見込み**
- ✓ **株式売却益は第４四半期に集中、第2四半期累計は赤字見込み**

プライベートエクイティ投資 P22
プロジェクト投資 P27

事業承継ファンド総額30億円達成

～国内中小企業の事業承継問題解決と地域創生を目指す～

ファンド名	サクセッション1号投資事業有限責任組合
運用者	AJキャピタル株式会社 （当社・あおぞら銀行が50%ずつ出資の合弁会社）
出資者	AJキャピタル、あおぞら銀行、愛媛銀行、FPG、 きらやか銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、 日本アジア投資、北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、 その他金融法人
ファンド総額	30億円　（2018年10月末時点）
投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業
設立日	2017年6月26日

アジアをテーマとした2ファンドを企画

テーマ	日本各地の中小企業のグローバル化支援 （海外へのビジネス展開支援、及び、 インバウンド需要取り込みによる成長支援）
想定出資者	地域金融機関
設立予定時期	2020年3月期中

テーマ	中国市場での成長が期待される日本のハイテク企業の支援
想定出資者	中国の機関投資家
設立予定時期	2020年3月期中

5. 営業活動の状況－プライベートエクイティ投資　IPO実績

JAIC

ＶＡＬＵＥＮＥＸ株式会社

2018年10月30日　東証マザーズ上場

～世界に氾濫する情報から
”知”を創造していく企業～

事業内容：
特許・文書解析ツール「TechRadar」、「DocRadar」のASP（Application Service Provider)ライセンスサービス及びこれを用いたコンサルティングサービスの提供

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド

2019年3月19日　東証マザーズ上場

～情報の価値を具現化する仕組みを提供する～

事業内容：
AI、クラウドインプットによる情報生成技術を活用した金融情報メディア(「みんなの株式」等)の運営並びに金融機関向け情報系フィンテックソリューションの提供

JAIC

投資実行 4社、合計1.3億円

株式会社リグア

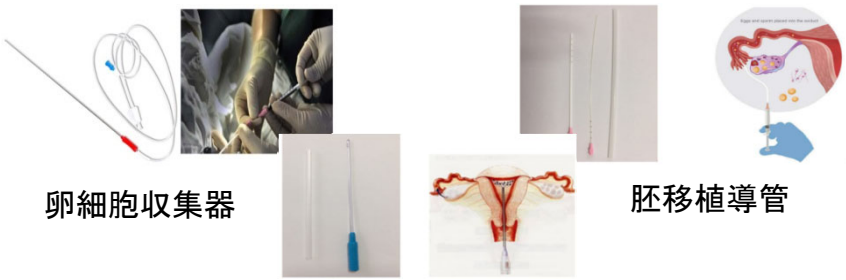
接骨院・整骨院向け各種ソリューション提供でトップクラスシェア

患者情報管理システム
「LigooPOS&CRM」

電気施術機器
「EMS-indepth-」

瀋陽中元宜和生物科技有限公司

医療機関向けの人工授精用医療機器の開発・生産を行うスタートアップ企業



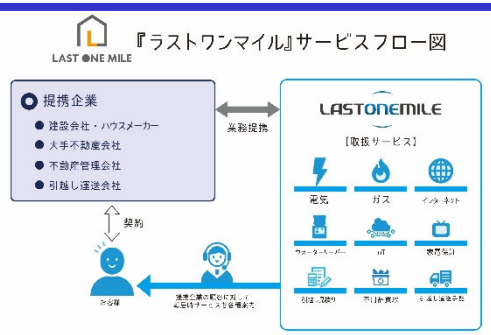
卵細胞収集器

胚移植導管

人工受精管

株式会社ラストワンマイル

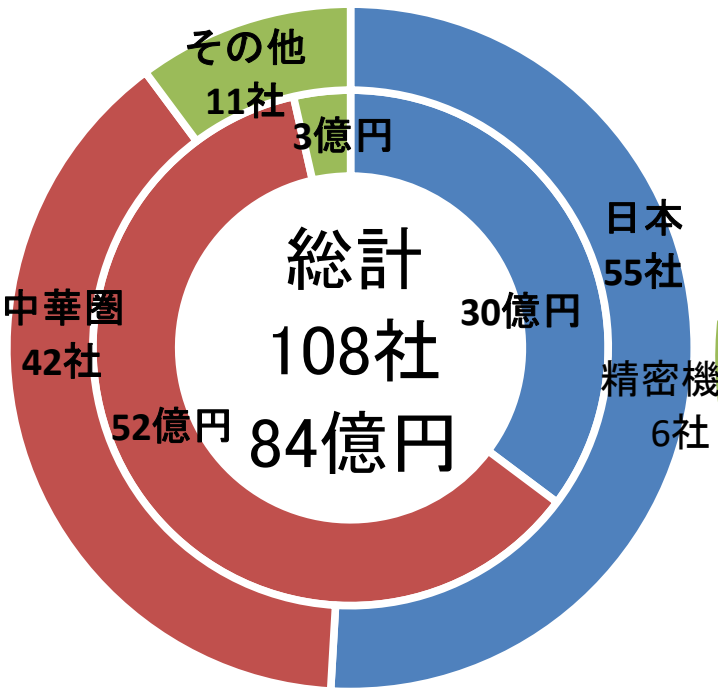
ライフライン・ITサービス・IoT・インフラをワンストップで提供するラストワンマイル事業等



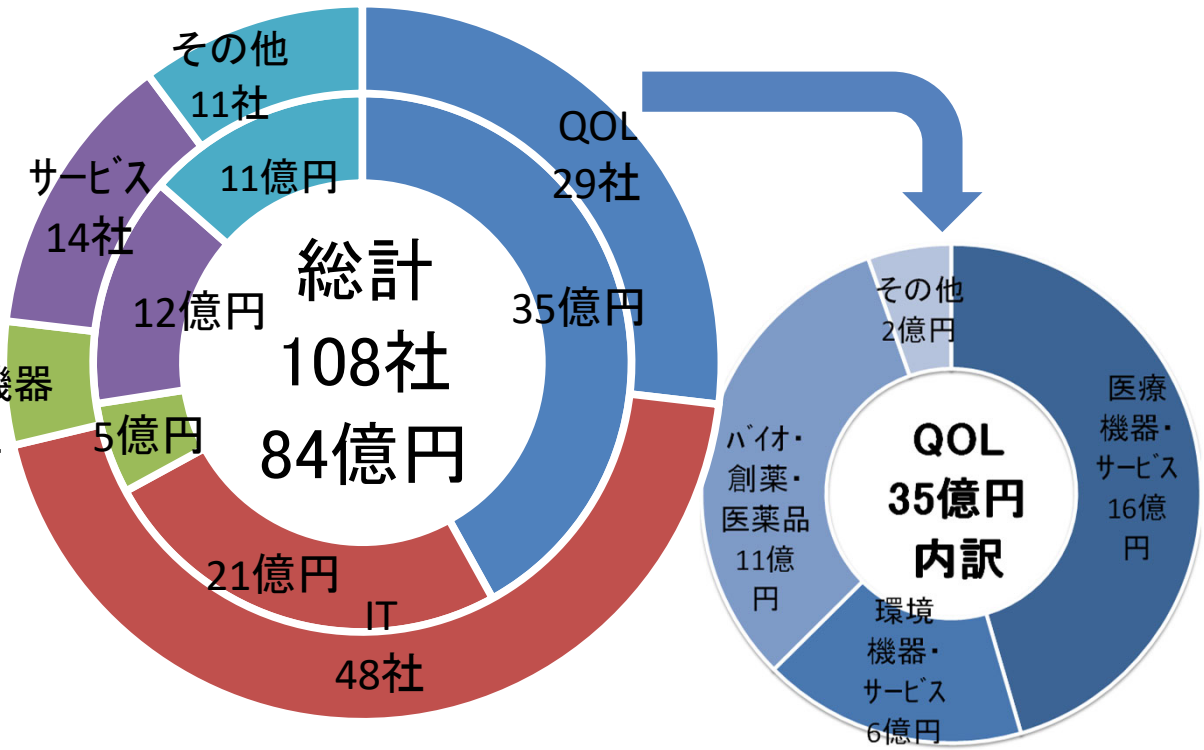
他IoT関連1社

投資残高 108社、合計84億円

【地域別内訳】



【業種別内訳】



1社当たり平均投資金額：
日本54百万円、中華圏122百万円/QOL122百万円、IT44百万円

JAIC

投資実行額 12件、合計36億円

No.	所在場所	プロジェクト種類	発電容量	特徴
1	三重県	風力発電所	最大25.2MW	追加投資
2	北海道	太陽光発電所	2.0MW	新規案件
3	岐阜県	太陽光発電所	20.0MW	短期売却目的（期中回収済み）
4	青森県	バイオガス発電所	0.03MW	新規案件
5	岩手県	太陽光発電所	2.7MW	追加投資
6	兵庫県	植物工場	－	当社初案件
7	熊本県	太陽光発電所	11.8MW	新規案件
8	福島県	太陽光発電所	2.7MW	新規案件
9	福岡県	太陽光発電所	2.9MW	新規案件
10	神奈川県	太陽光発電所	2.4MW	新規案件
11	三重県	太陽光発電所	21.8MW	追加投資
12	北海道	太陽光発電所	2.3MW	新規案件

5. 営業活動の状況－プロジェクト投資
再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2019年3月末)

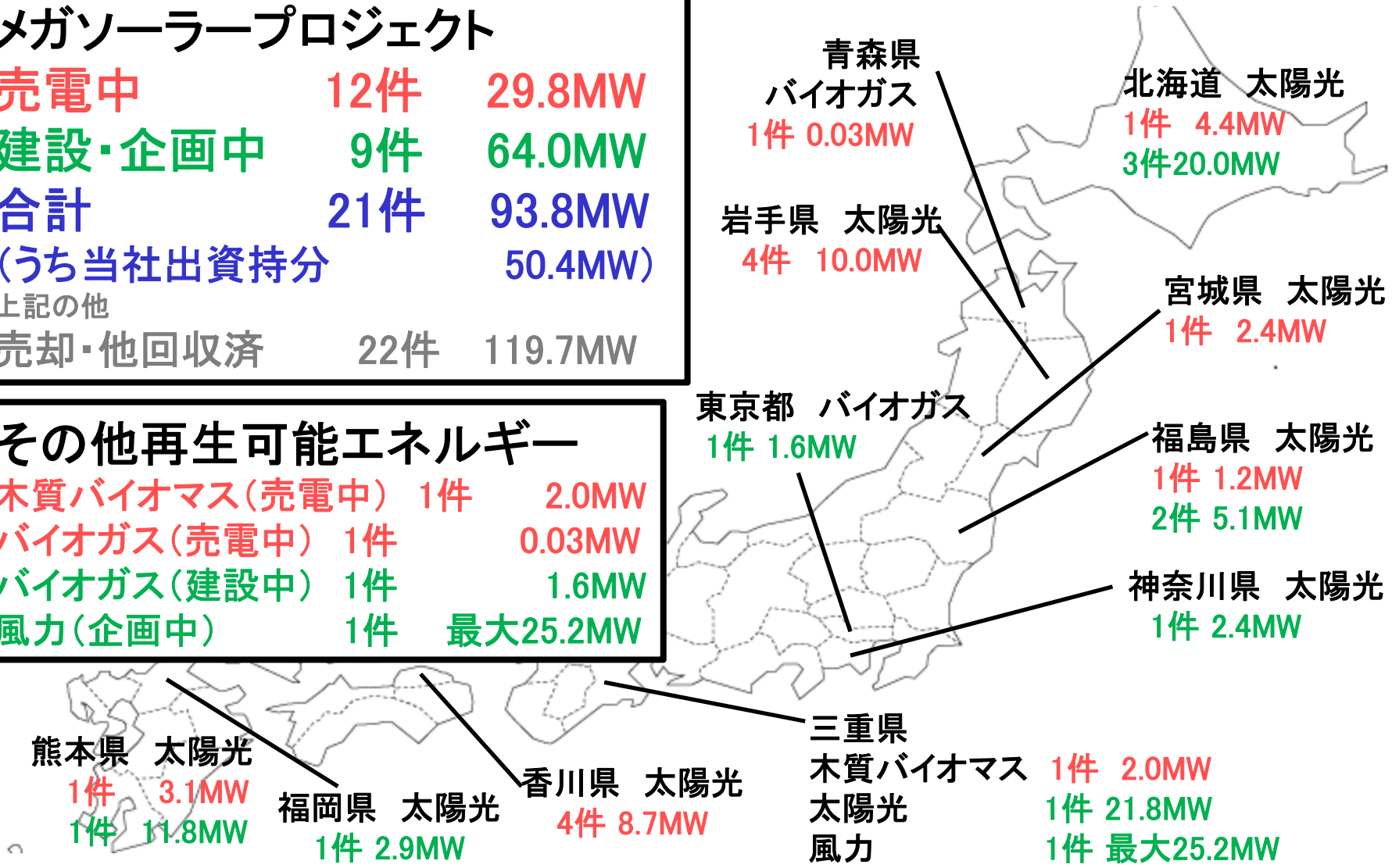
JAIC

メガソーラープロジェクト

売電中	12件	29.8MW
建設・企画中	9件	64.0MW
合計	21件	93.8MW
(うち当社出資持分		50.4MW)
上記の他		
売却・他回収済	22件	119.7MW

その他再生可能エネルギー

木質バイオマス(売電中)	1件	2.0MW
バイオガス(売電中)	1件	0.03MW
バイオガス(建設中)	1件	1.6MW
風力(企画中)	1件	最大25.2MW



※ 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

香川県さぬき市中王田池・東王田池　水上発電所

中王田（なかおうだ）池ソーラー発電所

売電開始　：2018年4月

最大出力　：約2.4MW
（※太陽電池パネル設置容量ベース）

固定買取価格　：36円/kWh（税別）

東王田（ひがしおうだ）池ソーラー発電所

売電開始　：2018年7月

最大出力　：約2.4MW
（※太陽電池パネル設置容量ベース）

固定買取価格　：36円/kWh（税別）

- 水上に建設することで、パネル設置面を平坦にするための、造成工事のコストが不要
- 周辺に遮蔽物が無いため日照条件が良好
- 水面の冷却作用でパネルの温度を低く保ち、発電効率を維持

メガソーラーシェアリング発電所

一関市吉高太陽光発電所
2018年6月　売電開始
最大出力：約2.6MW（太陽電池パネル設置容量ベース）

一関市鈴ヶ沢太陽光発電所
2018年10月　売電開始
最大出力：約2.7MW（太陽電池パネル設置容量ベース）

- 当社、リニューアブル・ジャパン㈱、東急不動産㈱の共同出資プロジェクト
- ㈱東北銀行からﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾌｧｲﾅﾝｽにより調達、三菱電機システムサービス㈱による施工
- 太陽光を農業と発電で「シェア」する「ソーラーシェアリング」
- 農地に支柱を立て一定の間隔を空けてパネルを設置、その下で大型農機で大麦を栽培
- 一般に、農地は平坦なため造成が殆ど不要、日照条件も良く、太陽光発電の適地
- 発電事業収入の一部を20年間に亘り営農支援費用として支払い、地域創生に貢献

5. 営業活動の状況
プロジェクト投資－再生可能エネルギープロジェクト売電開始事例 3

加美（かみ）ソーラーパーク
（宮城県加美町）

2018年10月　売電開始

最大出力:約2.4MW(太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格　：36円/kWh（税別）

通常は南向きの太陽電池パネルを東西向きに山折り形にして多数配置し発電量を20%増加

青森東北町発電所
（青森県上北郡東北町）

2018年11月　売電開始

最大出力：約30kW

固定買取価格　：39円/kWh（税別）

「ながいも」の廃棄部分（残渣）をメタン発酵させて生成するバイオガスを原動力とする発電所

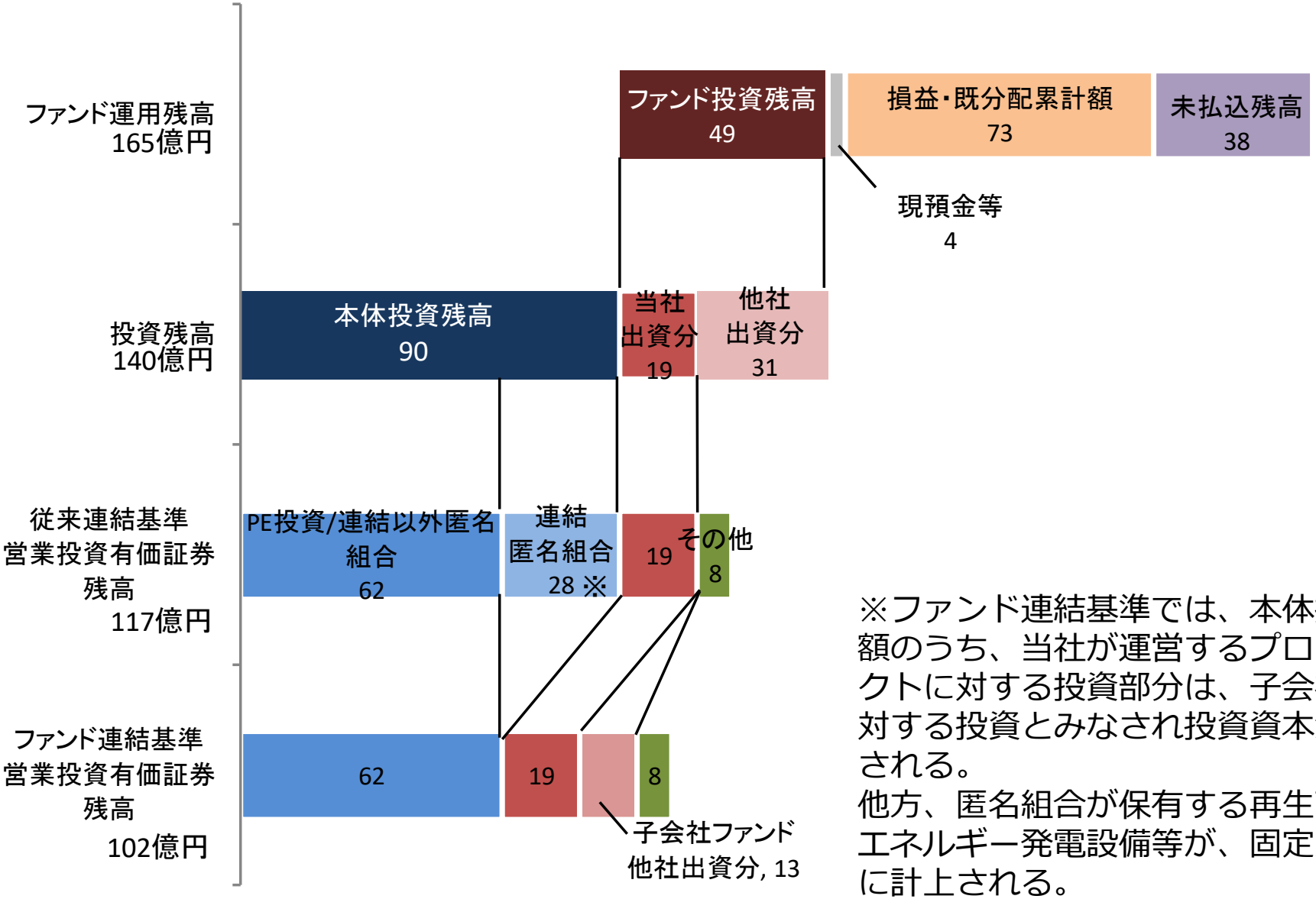
2019年3月 植物工場第1号案件が操業開始

建設地	兵庫県篠山市
敷地面積	約820㎡
工場タイプ	完全閉鎖型
栽培品目（予定 ）	リーフレタス、クレソン、赤水菜、結球レタスなどの業務用野菜
年間生産量（予定）	約200トン
プロジェクト総額	約7億円（大部分を金融機関からのプロジェクトファイナンスで調達予定）

- 植物工場の建設・運営に実績のあるベンチャー企業の㈱森久エンジニアリングと協業
- 運営は㈱森久エンジニアリングが担当し、当社は建設・運営資金の一部を出資

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P34
主要データの推移	P35
営業収益・営業原価　内訳（従来連結基準）	P37
投資損益　内訳（従来連結基準）	P38
プロジェクト総額	P39
プロジェクト累計収入見込み額の試算	P40
再生可能エネルギープロジェクト　投資案件一覧	P41
JAICの強み	P42
収益構造	P43
会社概要	P45

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ投資資本消去される。
他方、匿名組合が保有する再生可能エネルギー発電設備等が、固定資産に計上される。

主要データの推移　①

JAIC

・ファンドの状況、投資の状況

（単位：百万円）	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3
ファンド設立・増加額	－	－	5,201	500	1,000	2,000
ファンド運用残高	50,888	43,897	39,335	28,753	19,150	16,494
うち　当社グループ出資額			14,004	9,427	5,867	5,344
投資実行額	4,189	2,728	4,093	4,315	3,887	3,749
投資残高	25,862	19,722	18,783	16,558	13,981	13,951

主要データの推移 ②

JAIC

・業績、財務状況　（従来連結基準）

（単位：百万円）	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3
業績						
営業収益	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475
営業総利益	2,474	882	1,554	2,176	2,328	1,286
販売費及び一般管理費	1,621	1,433	1,472	1,339	1,311	1,109
営業利益	852	△550	82	836	1,017	177
経常利益	374	△610	612	726	954	83
親会社株主に帰属する当期純利益	462	△850	597	553	874	578
財務状況						
現預金	10,428	9,437	8,202	6,213	7,308	5,564
営業投資有価証券（プロジェクト投資）	608	1,337	3,722	4,081	3,582	5,514
引当後　営業投資有価証券（プライベートエイクイティ）	12,380	10,364	8,226	7,356	6,030	5,138
借入金・社債・予約権付社債	24,010	20,193	16,910	14,128	11,954	9,784
自己資本	2,573	3,373	4,976	5,686	6,545	6,840
総資産	27,302	24,396	22,680	20,305	19,220	17,305

営業収益・営業原価　内訳　（従来連結基準）

JAIC

（単位：百万円）		14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	増減率（%）
1.	投資事業組合等管理業務							
	管理運営報酬等	733	571	441	364	277	241	△13%
	成功報酬	132	63	288	101	86	–	–
	営業収益	865	634	729	466	364	241	△34%
	営業原価	–	–	–	–	–	–	–
	営業総利益	865	634	729	466	364	241	△34%
2.	投資業務							
	営業投資有価証券売却高	4,656	3,651	2,954	2,275	3,219	1,746	△46%
	組合持分利益等	357	100	295	1,128	1,612	406	△75%
	利息・配当収入	121	93	49	30	64	23	△64%
	営業収益	5,134	3,844	3,300	3,434	4,897	2,176	△56%
	営業投資有価証券売却原価	2,133	1,767	1,863	1,423	2,469	554	△78%
	営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	1,480	1,704	569	274	562	579	3%
	組合持分損失等	52	168	47	46	36	49	34%
	営業原価	3,666	3,640	2,481	1,744	3,069	1,182	△61%
	営業総利益	1,468	203	818	1,690	1,827	993	△46%
3.	その他							
	営業収益	154	53	13	25	142	57	△59%
	営業原価	15	9	7	6	5	6	12%
	営業総利益	139	44	5	19	136	51	△62%

合計							
連結営業収益	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	△54%
連結営業原価	3,681	3,650	2,488	1,750	3,074	1,188	△61%
連結営業総利益	2,474	882	1,554	2,176	2,328	1,286	△45%

投資損益　内訳　（従来連結基準）

JAIC

単位：百万円

2018/3期	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 上場	海外 未上場	プロジェクト
(A)売却高	3,219	179	1,209	11	36	1,783
(B)売却原価	2,469	61	906	11	24	1,465
(A-B)実現キャピタルゲイン	749	117	302	－	11	318
(C)評価損・引当繰入額	562	－	493	－	69	－
(A-B-C)投資損益	187	117	△190	－	△58	318

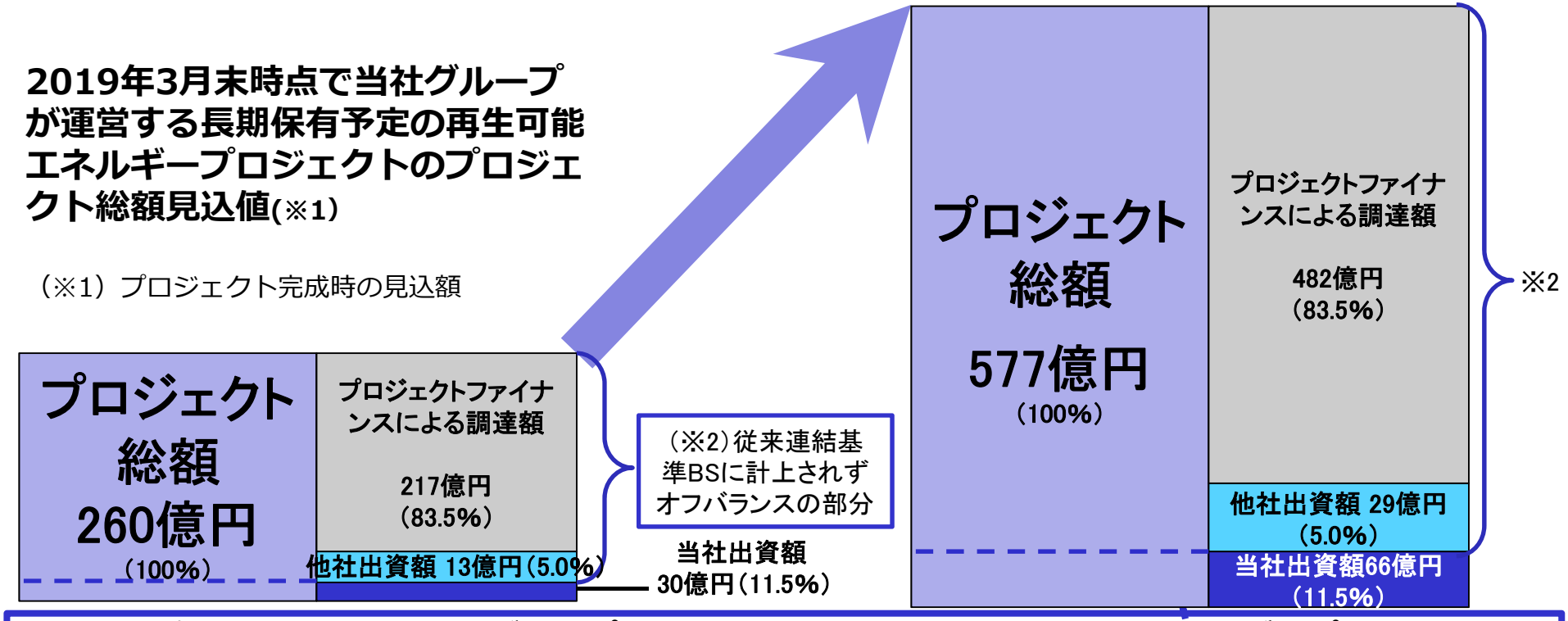
2019/3期	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 上場	海外 未上場	プロジェクト
(A)売却高	1,746	371	403	－	90	881
(B)売却原価	554	37	163	－	124	228
(A-B)実現キャピタルゲイン	1,192	334	239	－	△34	652
(C)評価損・引当繰入額	579	△21	203	－	396	－
(A-B-C)投資損益	613	355	35	－	△430	652

再生可能エネルギープロジェクトープロジェクト総額

JAIC

2019年3月末時点で当社グループが運営する長期保有予定の再生可能エネルギープロジェクトのプロジェクト総額見込値(※1)

（※1）プロジェクト完成時の見込額



- ✓ **2019年3月末時点で、当社グループが運営する長期保有予定の再生可能エネルギープロジェクトのプロジェクト総額は、合計260億円の見込み**
- ✓ **従来連結基準では、プロジェクト総額のうち「当社出資額」30億円（8.3%）以外はオフバランス（※2）**
- ✓ **当社では、2021年3月末までに当社出資額を66億円まで積上げることを目指す。仮に、今後投資するプロジェクトも既存のプロジェクトと同じ割合で資金調達を行うと仮定した場合、当社出資額66億円に対応するプロジェクト総額は577億円に拡大する。**

（注）本資料の記載事項はその策定時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

プロジェクト累計収入見込み額の試算

JAIC

2019年3月末当社グループが運営する再生可能エネルギープロジェクトの売電による累計収入見込額

これらのプロジェクトを
保有し続けた場合に、
一定の仮定のもとに試算すると

当社投資額

30億円

全プロジェクト
完成時点の
見込額

差額70億円
＝
含み益
（割引前）

20年間
累計収入
見込み額

100億円

売電開始からFIT期間
終了まで（約20年間）
の売電に基づく累計の
収入見込額（※）

※　収入見込額＝売電収入から減価償却費や支払利息、その他売電やプロジェクト運営に係る各種経費を控除した後に分配される金額。

再生可能エネルギープロジェクト　投資案件一覧 (2019年3月末)

JAIC

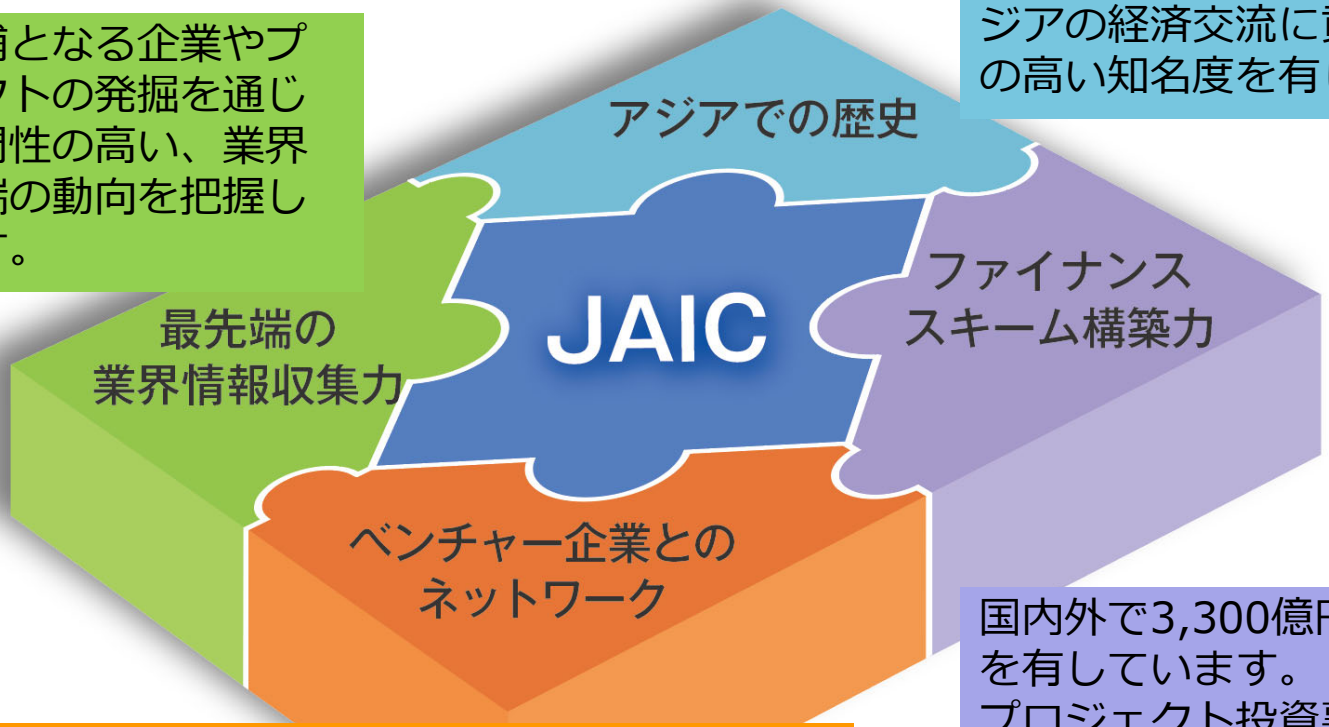
電源種類		発電所名/所在地	発電容量(MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ総額
太陽光	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 （2015年12月売電開始）	40	約10.5億円
	2	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 （2016年9月売電開始）	36	約7.3億円
	3	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 （2017年5月売電開始）	36	約8億円
	4	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 （2017年9月売電開始）	36	約3.4億円
	5	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 （2017年9月売電開始）	32	約5億円
	6	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 （2018年1月売電開始）	36	約8億円
	7	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 （2018年3月売電開始）	40	約22億円
	8	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 （2018年4月売電開始）	36	約8.6億円
	9	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 （2018年6月売電開始）	36	―
	10	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 （2018年7月売電開始）	36	約8.6億円
	11	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 （2018年10月売電開始）	36	―
	12	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 （2018年10月売電開始）	36	約9.6億円
	13	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設・企画中	40	約66億円
	14	北海道	2.0	建設・企画中	36	―
	15	三重県	21.8	建設・企画中	24	―
	16	福島県	2.4	建設・企画中	32	―
	17	福島県	2.7	建設・企画中	40	―
	18	熊本県	11.8	建設・企画中	36	―
	19	北海道	2.3	建設・企画中	40	―
	20	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	―
	21	福岡県	2.9	建設・企画中	36	―
合計93.8MW （うち当社出資持分　50.4MW）						
木質ﾊﾞｲｵﾏｽ		三重県松阪市	2.0	売電中 （2018年1月売電開始）	―	―
バイオガス	1	東京都	1.6	建設・企画中	39	―
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 （2018年11月売電開始）	39	―
風力		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	―

JAICの強み

JAIC

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。



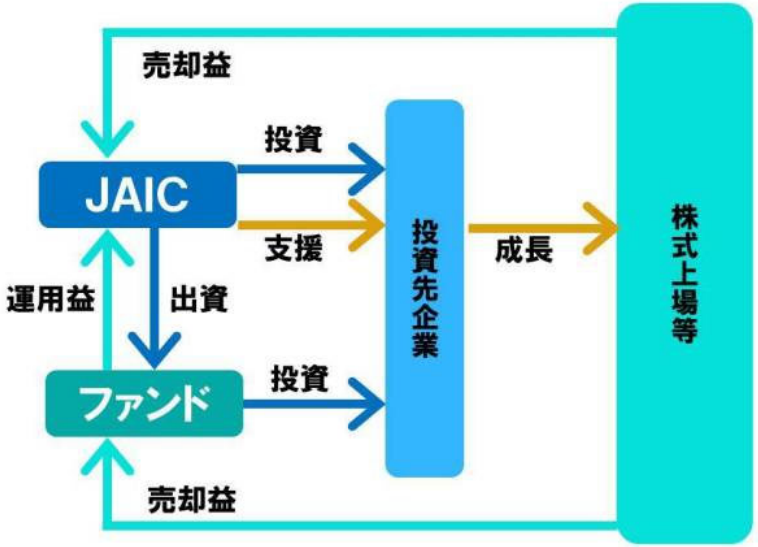
国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

収益構造　－　投資業務

JAIC

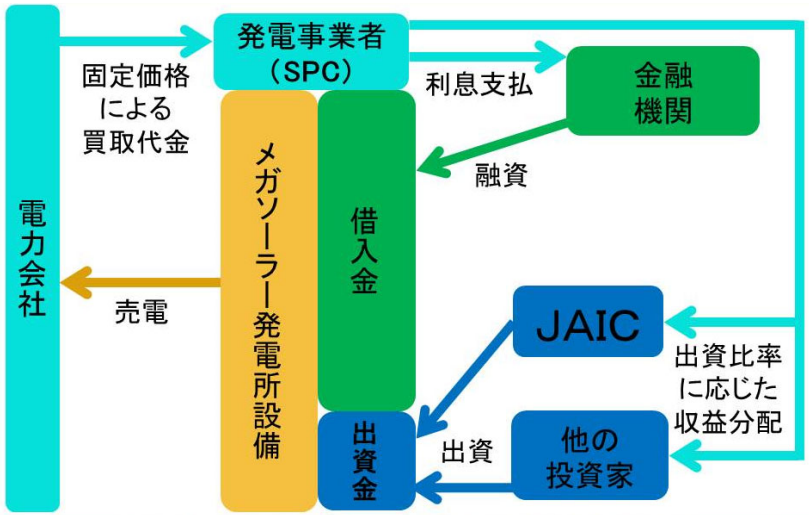
●投資業務：プライベートエクイティ



投資資金は、
・ＪＡＩＣ自身の手元資金からの拠出
・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金
の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務：再生可能エネルギープロジェクト



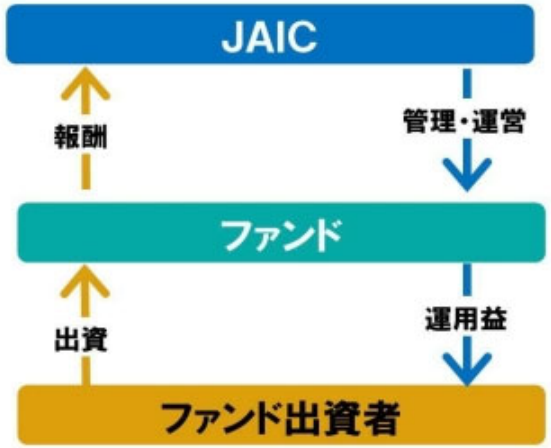
発電事業者は、発電所建設資金を、
・ＪＡＩＣ、他の投資家の出資金
・金融機関からの借入金
の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社に買い取られます
ＪＡＩＣ等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造　－　ファンド管理業務

JAIC

●投資事業組合等（ファンド）の管理業務



ファンドの管理業務では、
・経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
・ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬
の2種類の報酬があります

会社概要（2019年3月末現在）

JAIC

商号	日本アジア投資株式会社　（略称）JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所　市場第一部　（証券コード：8518）
従業員数	単体22名／連結40名
事業領域	・プライベートエクイティ投資 ・プロジェクト投資
役員	取締役会長（独立社外）　川俣　喜昭　：　取締役会議長 代表取締役社長　下村　哲朗 取締役　大森　和徳　：　監査等委員長 取締役（独立社外）　安川　均　：　監査等委員 取締役（独立社外）　沼波　正　：　監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570　東京都千代田区神田錦町三丁目11番地　精興竹橋共同ビル
代表　Ｔｅｌ（03）3259-8518　Ｆax（03）3259-8511
http://www.jaic-vc.co.jp
ＩＲに関するお問合せ先：
執行役員　　岸本
管理グループ　丸山
ＩＲに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。